

八王子市障害者地域自立支援協議会
権利擁護推進部会 令和3年度 第6回会議録

(開催日時) 令和3年12月15日(火) 10:00-12:00

(開催場所) 八王子市役所802会議室

1. 開 会

2. 好事例集の作成について

- ・配布資料参考。
- ・次回の部会(1月26日)には原稿を完成させる。
- ・表紙について。好事例集のタイトルは、「みんなちがってみんないい」、サブタイトルは「八王子市合理的配慮好事例集」、表紙のイラストは「みんなちがってみんないい」と同じもの、表紙の色は黄色とすることになった。(「みんなちがってみんないい」シリーズの赤字で書かれている「小学生版」の部分を「八王子市合理的配慮好事例集」とする。)
- ・ページ番号をふることが確認された。本日の配布資料では、はじめにが1ページ、目次が2ページ…と続くことが確認された。27ページ(最終ページ)に発行元などの情報を載せることになった。
- ・事例ページにある心の声と実際の声の区別ができるように、吹き出しの形を統一させることになった。
- ・事例の中に必要に応じてワンポイントアドバイスを入れる。
- ・障害者マークの前に参考資料として「コミュニケーション支援ボード」を入れる。
- ・1ページ「はじめに」に「条例の改正について」(3ページ)にある「合理的な配慮ってなに?」にあたる内容をと、「合理的配慮」は人によって違うという旨を入れることになった。また、「はじめに」の最後にある「作りましょう?」の「?」マークはとる。
- ・3ページ「条例の改正について」を「条例(一部抜粋)」の前に移して条例に関する流れを作ることになった。
- ・4ページ「障害別好事例一覧表」は、目次にまとめることになった。
- ・5ページのタイトル、「〈①肢体不自由〉車椅子利用の」に「方」を付け加える。
- ・8ページにファミレスの店員さんが話しているイラストも入れることになった。
- ・9ページ、10ページの合理的配慮については、合理的配慮を羅列して並べる形から、視覚的に表現することの重要性をポイントとして、実際に記載するものは一つにすることになった。また、事例も内容が入れ込まれすぎているので、簡潔にすることになった。修正案は障害者福祉課が作成する。
- ・11ページの事例はヘルプマークを中心にして簡潔にすることになった。場面は電車内の満員電車で、流れは具合が悪くなり気がついてもらえずに困っていたが、ヘルプマークに気づいた人が席を譲ってくれて助かった、というものにする事になった。また、合理的配慮の「具合が悪そうに～」以下を削除する。
- ・12ページ タイトルに「人工透析の方」と追加する。

- ・ 11ページと12ページ、事例の順番を入れ替える。
- ・ 13ページ以降の⑤知的障害者、⑥精神疾患のある方、⑦難病、おわりに等は各自確認し、意見がある人はメーリングリストで述べるようになった。
- ・ 今後のスケジュールは以下の通りとなった。
事例の修正・13ページ以降への意見→12月17日まで
障害者福祉課から修正案の提案→12月21日頃まで
修正案に対する意見→1月14日まで
最終原稿確認→1月26日（第7回権利擁護推進部会）

3. その他

- ・ 虐待防止研修の講師の推薦について

宮本委員からはもりえいこさん（聴覚障害）、竹澤委員からは藤井亘さん（NPO法人クローバー）が推薦された。

- ・ 次回開催日：1月26日（水）10：00～12：00
場所：八王子市役所802会議室

5. 閉 会